



雅史といこまの未来を創る会

こむらさき

新型コロナウイルスは、その性質、規模、期間等、どれをとっても未曾有の災害となりました。

このピンチをできるだけ最小限で切り抜け、同時に、ピンチをチャンスととらえ、まちづくりの発展や市民サービスの改善などを具体化できるかどうかが、今後、生駒市民と生駒市役所の腕の見せ所です。

全国に誇る生駒市の高い市民力を今こそ發揮し、アフターコロナ時代に、どの地域よりも効果的かつ迅速に、地域を再活性化できるよう、「オール生駒」で、全力で、取り組みを進めていきましょう！

生駒市では、新型コロナウイルスにより、毎日の生活や事業に影響を受けている皆様に対し、様々な支援策を講じています。

是非ご活用ください。



facebook



twitter



WEB市長室

こむらさき雅史

こむらさき雅史プロフィール

- 1974年 兵庫県生まれ 46歳 一橋大学法学部卒
妻と子ども3人 子育て奮闘中
- 1997年 環境庁（現・環境省）に入庁
- 2002年 シラキュース大学（米国）行政大学院に留学
- 2007年 在米日本大使館（ワシントンD.C.）に勤務
- 2012年 生駒市副市長に就任
- 2015年 生駒市長に就任
- 2019年 生駒市長（2期目）に就任

生駒市は、市独自の取り組みを講じ、支援が必要な方に一日も早く届くよう全力で取り組んでいます。

生駒市の対策

支援パッケージ第1弾

4月24日

予算 約1.5億円

- 水道料金の基本料金2か月分を無料 約1.3億円
- 休日も対応する専用相談ダイヤルの設置 5/19終了
- 生駒市独自の事業者支援金10万円の支給 約1,000万円
- 消防本部に新型コロナウイルス専属隊を設置
- 子どもたちの学習・生活支援オンライン教室の整備・開始 約400万円

生駒市の対策

支援パッケージ第2弾

5月14日

予算 約2.2億円

- 公立小・中学校の給食費を2ヶ月分無料化 約9,000万円
- ひとり親家庭に対する子ども一人当たり1万円の支給 約1,000万円
- 事業者に対する10万円支援対象拡大、事業継続相談事業 約8,000万円
- オンライン学習用ネット環境のない家庭への環境整備等 約1,100万円
- 医療・介護福祉施設、妊婦等に対する約2万枚のマスクの追加配布
- 避難所における新型コロナウイルス対策品の購入 約2,000万円

生駒市の対策

支援パッケージ第3弾

5月25日

予算 約1.5億円

- 市内事業者・店舗に対する利用者の先払いに対し、市から30%のプレミアムを付与 約2,000万円
- 生駒市の図書館に電子書籍導入、オンライン貸し出し開始 約230万円
- 新型コロナウイルスの影響により、内定取り消しや雇止めになった人などを対象として、会計年度任用職員を募集 約800万円
- 新型コロナウイルス感染症患者の搬送装置の購入 約165万円
- 職員の在宅勤務やWeb会議等の環境整備 約2,200万円
- 期末手当の削減（市長30%、副市長・教育長・水道事業管理者各20%）

国の対策

国の支援事業の円滑な執行・相談

- 1人当たり10万円の特別定額給付金
- 児童手当に1人当たり1万円の上乗せ支給
- 小・中学生1人に1台のPC機器整備
- 住宅確保給付金の支給
- 事業者に対する持続化給付金



新型コロナウイルス関係の情報更新中

最新の情報は、生駒市役所ウェブサイトをご確認ください
<https://www.city.ikoma.lg.jp/0000021355.html>



〈市政報告会は中止いたします〉

私は、市長就任以来、毎年2回の市政ニュース発行、市内全駅の駅立ち、市政報告会の開催を欠かさず続けてまいりました。しかしながら、このたび、春に予定していた市政報告会と駅立ちを、市長就任以来、初めて中止することといたしました。市民の皆様と直接お話しし、質疑応答する機会、駅でのあいさつなどは、「市民とともに汗をかくまちづくり」を進める私にとって何より大切な機会ですので、今回の決定は断腸の思いですが、新型コロナウイルスの感染拡大防止をお願いしている立場としてはやむを得ないと判断しました。何卒ご理解のほど、よろしくお願ひいたします。